

深野棚田地区の 景観まちづくり

No.1



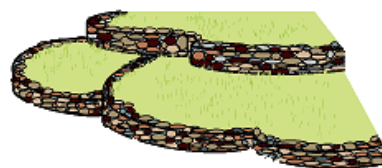
令和4年10月 発行
松阪市建設部都市計画課

松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

また、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様にもっともっと松阪市の景観を好きになってほしいとの想いで、まちなみの保全に取り組んでいます。

深野だんだん田は、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」(旧日本の棚田百選)にも選ばれており、芸術的な石積みが特徴的な棚田景観は、本市を代表する文化的景観として保全する必要性を強く感じることから、重点地区(候補)としての位置づけをしていきたいと考えています。



石の芸術『深野だんだん田』について

深野だんだん田は、まつさか香肌イレブンの1座である白猪山の麓に広がり、山の斜面に120段を数える芸術的な石積みの棚田を見ることができます。先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれ、地区の自慢であるとともに、松阪市を代表する文化的景観として評価されています。

棚田の歴史は、室町時代に当地が北畠氏の重要な拠点であったことで、白猪山の西に「のろし場」があり、見張りに詰めている侍たちの食料確保のため、室町時代中期から江戸時代初期にかけて棚田が開拓されたと伝えられています。

また、深野だんだん田で作られる棚田米は、白猪山から湧き出た清らかな水と、高地による昼夜の寒暖差によって磨かれ、地域ブランド「夏明かり」として、松阪市のふるさと納税の返礼品にも選ばれ大変おいしいと好評を得ています。



地域のブランド米「夏明かり」



市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

【重点地区や重点地区（候補）の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区

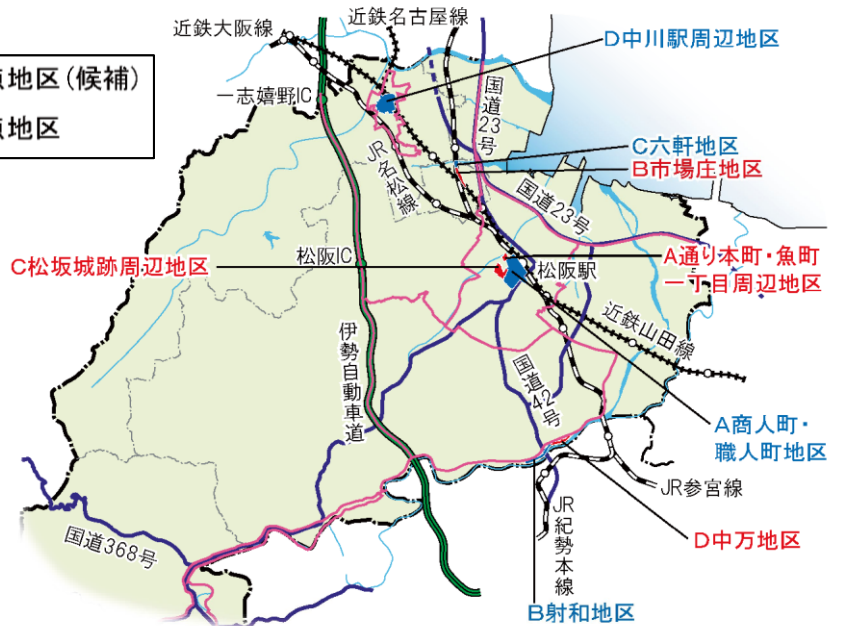


C 松坂城跡周辺地区



D 中万庄地区

- 重点地区（候補）
- 重点地区

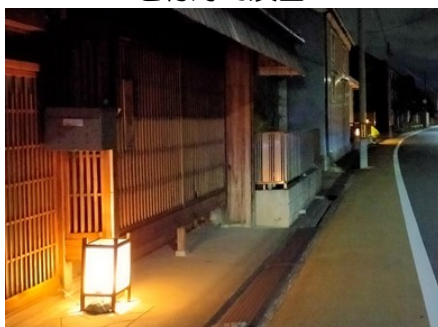


重点地区で行われている様々な景観まちづくり活動を紹介します！

歴史的建造物の活用



“格子戸のまちなみ”
を行灯で演出



地区の伝統行事を
現代版として復活



まちの散策を
通じた交流活動



みんなで柿渋塗りにして
まちなみをメンテナンス



景観まちづくり
意見交換会

